

ふくおかの経済

平成29年8月号

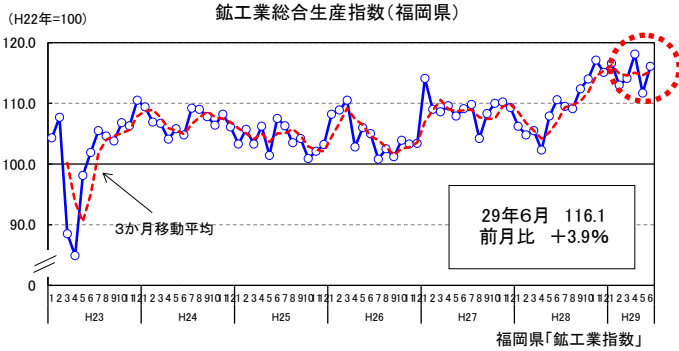


福岡県の景気は、着実に回復している。

生産

生産は高水準で推移している

6月の生産指数は、輸送機械工業などがけん引し、前月比で2か月ぶりに上昇しました。水準としても高い状況が続いています。

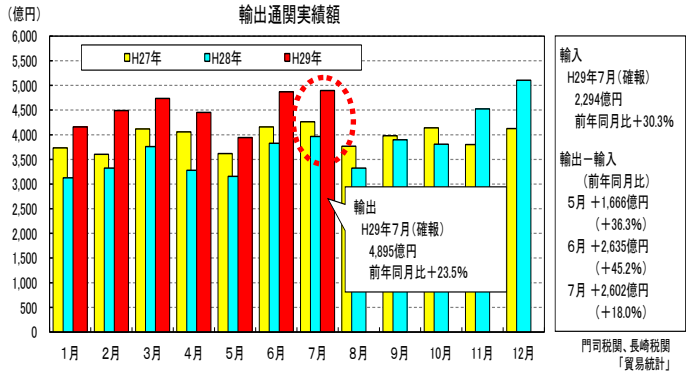


鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は増加、輸入は回復

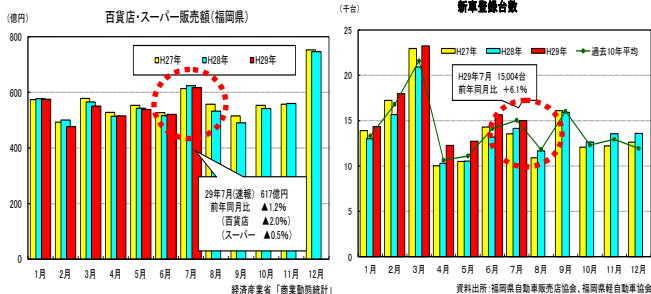
7月の輸出は、米国向けの自動車や韓国向け一般機械などが増加したことから、9か月連続で前年同月を上回りました。輸入も、9か月連続で前年同月を上回りました。



消費

緩やかに回復している

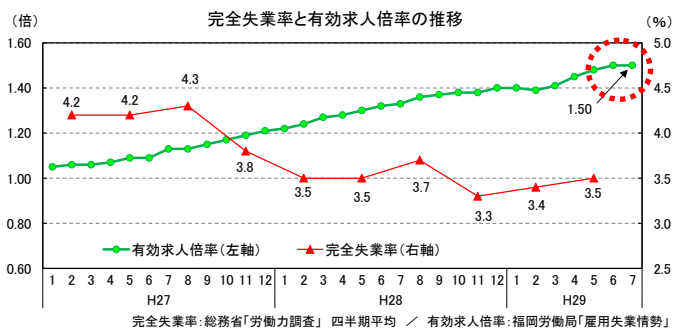
7月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品や飲食料品が伸び悩んだことなどから、2か月ぶりに前年同月を下回りました。新車登録台数は前年を上回る状況が続いています。



雇用

着実に改善が進んでいる

7月の有効求人倍率は1.50倍で、昭和38年の統計開始以来、過去最高だった前月と同水準でした。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。

今月のピックアップ 好調な自動車販売 ～過去の政策が追い風の要因に～

- 福岡県の新車販売は、2017年度上期、リーマンショック前を超える高水準となっています。耐久消費財の購入には補助金や税金の制度変更等の政策要因が大きな影響を与えますが、自動車販売も2度のエコカー補助金実施時や消費税率引上げ前に高い伸びを示しました。(図1)
- 一般的に自動車は車検前に買い換える人が多いといわれており、民間機関のアンケート調査でも、その傾向を示しています(図2)。
- 2017年はエコカー補助金実施時期に購入した車が5年目、7年目を迎える年で、買い替え需要と重なったことが、好調な自動車販売の背景にあると推察されます。(図3)



車検の3年目、5年目、7年目のタイミングで買い替えようとするんじゃない!

図1 政策と新車販売動向(福岡県・前年同月比)

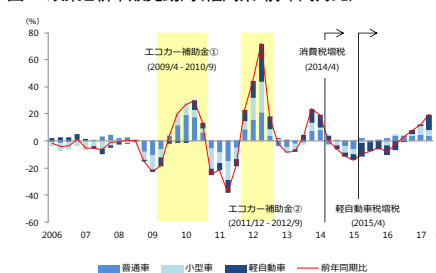


図2 自動車の買い替えサイクル期間(10年未満)

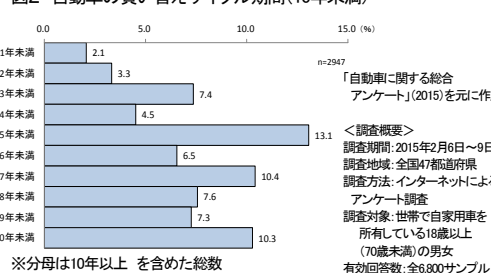
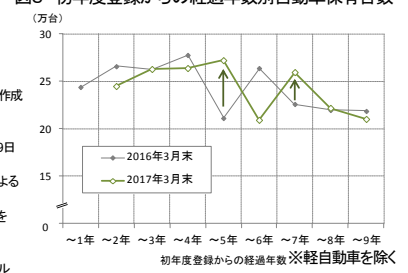


図3 初年度登録からの経過年数別自動車保有台数



資料)図1:福岡県自動車販売店協会、福岡県軽自動車協会/図2:株式会社プロトコーポレーション/図3:九州運輸局

(トピック担当:分析1班 山田)